



# Design

～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟広報誌Design号外29号です。表面は、“彩り”で受け入れた事例の紹介です。裏面は、老健やましろからのお知らせです。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

## 地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れた事例の紹介（第43回）

～ 地域包括ケア病棟“彩り”から老健やましろへ～



患者さんは高齢女性です。自宅で転倒、頭部外傷にて救急搬送されました。急性期の治療は特に必要ありませんでしたが、高齢の旦那さんとの2人暮らしということもあり、経過観察と退院後の環境整備目的のため、“彩り”に入院して頂きました。

“彩り”入院の際、ご本人と旦那さんから受傷時の様子や生活状況について聞き取りを行いました。お二人からの聞き取りでは不十分で、また、当院受診歴もないため、詳細が不明な状態でした。入院後間もなく、旦那さんがご本人のお薬を山のように持参されました。おそらく服薬の管理ができていなかったと推測されます。

入院してしばらくは体幹もふらふらで、支えがないとベッド上での端座位も困難でしたが、経過と共にふらつきは改善し、今では軽介助～見守りでポータブルトイレでの排泄が可能、少しの介助があれば数十メートルの歩行が可能となりました。しかし、ご本人の記憶力低下による旦那さんの介護負担を考えた時、退院先を自宅とした支援でよいのか、スタッフで検討しました。ほぼ毎日面会に来られる旦那さんのご様子から、ご夫婦が共に入居できる有料老人ホームはどうかという案も出ました。そして、後日、ご家族（旦那さん、姪御さん）と面談しました。入院後の経過をお伝えした後、退院先について選択肢を提示させて頂きました。自宅で見てやりたいというお気持ちはあるものの、介護サービスを利用したとしても旦那さんの負担が大きいことが予測されるため、最終的には患者さんは当院併設の老健やましろへの入所を目指し、旦那さんはこれまで通り自宅で生活されることとなりました。面談終了後には、老健やましろでの生活をイメージして頂けるようご家族を老健やましろにお連れしました。もちろん、患者さんご本人にも、ご家族との面談内容と併せて老健やましろ入所する理由について説明し、ご理解を頂いています。

\*

現在も患者さんは“彩り”入院中ですが、この地域で住み続けて頂けるよう、老健やましろと引き続き、連携していきたいと思っています。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

0774-73-1818 (中野・中嶋・松田)

## 老健やましろより

～『木津川市 かいご・ふくし就職フェア』に参加しました～



8月31日（土）、加茂文化センターで開催された『木津川市 かいご・ふくし就職フェア』に参加させていただきました。この就職フェアは、木津川市が主催となり、京都府社会福祉協議会、京都府福祉人材・研修センターの協力のもと、当施設も含め木津川市内の12法人が出展しました。

近年は、どの業種でも人材不足が問題にされていますが、介護人材の不足も大変深刻なものとなっています。厚生労働省から2018年に出された「第7期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数について」によると、介護人材は2020年度末までに約216万人、2025年度末には約245万人が必要であり、2025年度まで年間6万人程度の介護人材を確保する必要があるといわれています。また、介護サービス事業所における人材不足の理由についても、以前よく言われていた「離職率の高さ」よりも、最近では「採用困難」が人材不足の理由のトップとなっています。

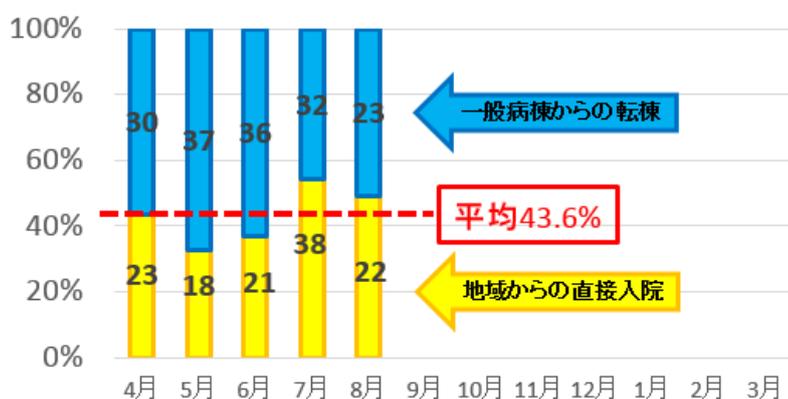
かいご・ふくし就職フェアについても、これまでは都道府県単位で行われることが一般的で、京都府でも京都市内で開催されることが多かったように思います。京都府では、今年から市町村単位での開催にも力を入れており、市町村開催の方がより地域に密着した就職フェアとなるためマッチング率が高いとのことで、木津川市は八幡市、亀岡市に続いて3例目の開催でした。

当日は、あいにくの天気でしたが、27名と多くの参加者があり、資格を持っている人や、比較的若い人たちも多く、熱心に各ブースを回り事業所の担当者と話がされていました。当施設のブースにも数名の方に来ていただき、これから採用に繋がれば大変うれしく思います。

来年度以降もこのような就職フェアが継続され、この地域の介護・福祉業界で一緒に働く仲間が増えることを楽しみにしています。（老健やましろ 管理部長 三村 裕子）

## 地域からの受け入れの状況について

一般病棟からの受け入れと直接入院の割合



今年度（4月～8月）の地域から直接、受け入れさせて頂いた患者様の人数と割合です（左図）。

月によって変動はありますが、月平均24.4名の患者様を受け入れし、割合は43.6%となっています。

秋の連休中や年末年始も受け入れさせていただきますので、お気軽にお問い合わせ下さい。（南出）